

授業改革と動き育てる組織づくりの **スス**メ vol.2

今回は、動き育てる組織づくりの事例についてです。石狩管内教育推進の重点2を踏まえ、各学校においては、「誰がいつ、どこで、どのように」学校の教育活動等を決定するのかを明確にしています。

本事例のポイントは、教育活動の改善策や危機発生時の対応策について校長の意思決定の過程を明確にし、教職員に提示している点です。

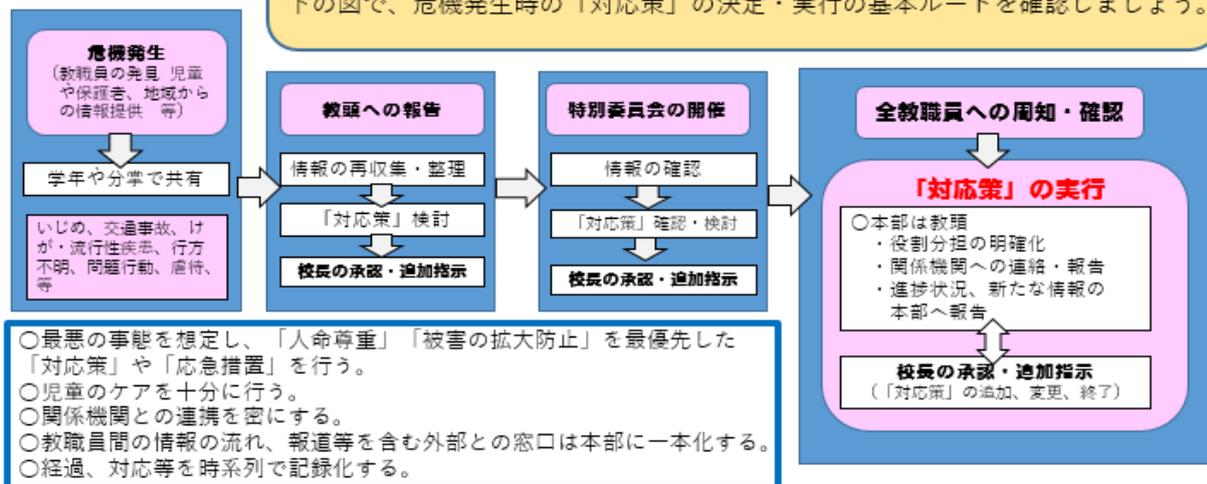
動く組織づくり、育てる組織づくりの実践事例（千歳市立末広小学校）

日常的な教育活動をよりよいものにするため、校長の方針の下、教職員の気づきや、保護者や子どもの声を迅速に「学校改善」に生かしていくために、改善策の決定・実践の基本ルートを作成し、教職員で確認するなど、動く組織づくりに向けた取組を進めています。



危機発生時の迅速で的確な「対応策」決定・実行の基本ルート

いじめや問題行動、けが等の危機発生時は、素早い対応と的確な初期対応が最も重要です。学校の対応には、根拠と責任のある説明が求められます。種別の危機対応は、それぞれの「危機管理マニュアル」を基本としますが、下の図で、危機発生時の「対応策」の決定・実行の基本ルートを確認しましょう。



【担当から】

質の高い教育活動の推進に向けて、本資料を参考に、学校の課題への迅速な対応を図る「動く組織づくり」と、職員の資質向上を図り、人材育成を推進する「育てる組織づくり」を一層充実させていきましょう。

(義務教育指導班主査 関口 祐太郎)